

1 単元名・教材名 「What do you like? 何が好き？」

2 単元の目標

- 日本語と英語の音声の違いに気づき、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 (知識・技能)
- 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 (思考力・判断力・表現力)
- 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと 【やりとり】	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4 単元の評価規準 ※記録を残す評価

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>色や果物、動物、スポーツを表す語句や、What ○○do you like~? や I like~. などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。 <技能>色や果物、動物、スポーツを表す語句や、What ○○do you like~? や I like~. などの表現を聞き取る能力を身に付けている。	好きな色や身の回りのもの・ことを尋ねる表現を使って、友達の好きなものを聞いて、おおよその内容を捉えている。	好きなものを尋ねる表現に関心をもち、友達の好きなものを進んで聞こうとしている。
話すこと 【やりとり】	<知識>色や果物、動物、スポーツを表す語句や、What ○○do you like? や I like~. などの表現について慣れ親しんでいる。 <技能>色や果物、動物、スポーツを表す語句や、What ○○do you like? や I like~. などの表現の表現を伝えることができる。	相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元は、「新本ランキングをつくろう！」というゴールに向けて、好きな色、動物、スポーツを尋ねたり伝えたりする活動を通して、What ○○ do you like? I like~.と尋ねたり答えたりすることをねらいにしている。

これまで児童は1・2年生の頃に、英語で自分の好きなものを伝えたり、相手の好きなものを尋ねたりする活動をした経験がある。また、前単元では、Do you like~?やI like~.を使って、自分の好きなものについて、表現する活動を通して、友達の好きなものについて理解を深めてきた。

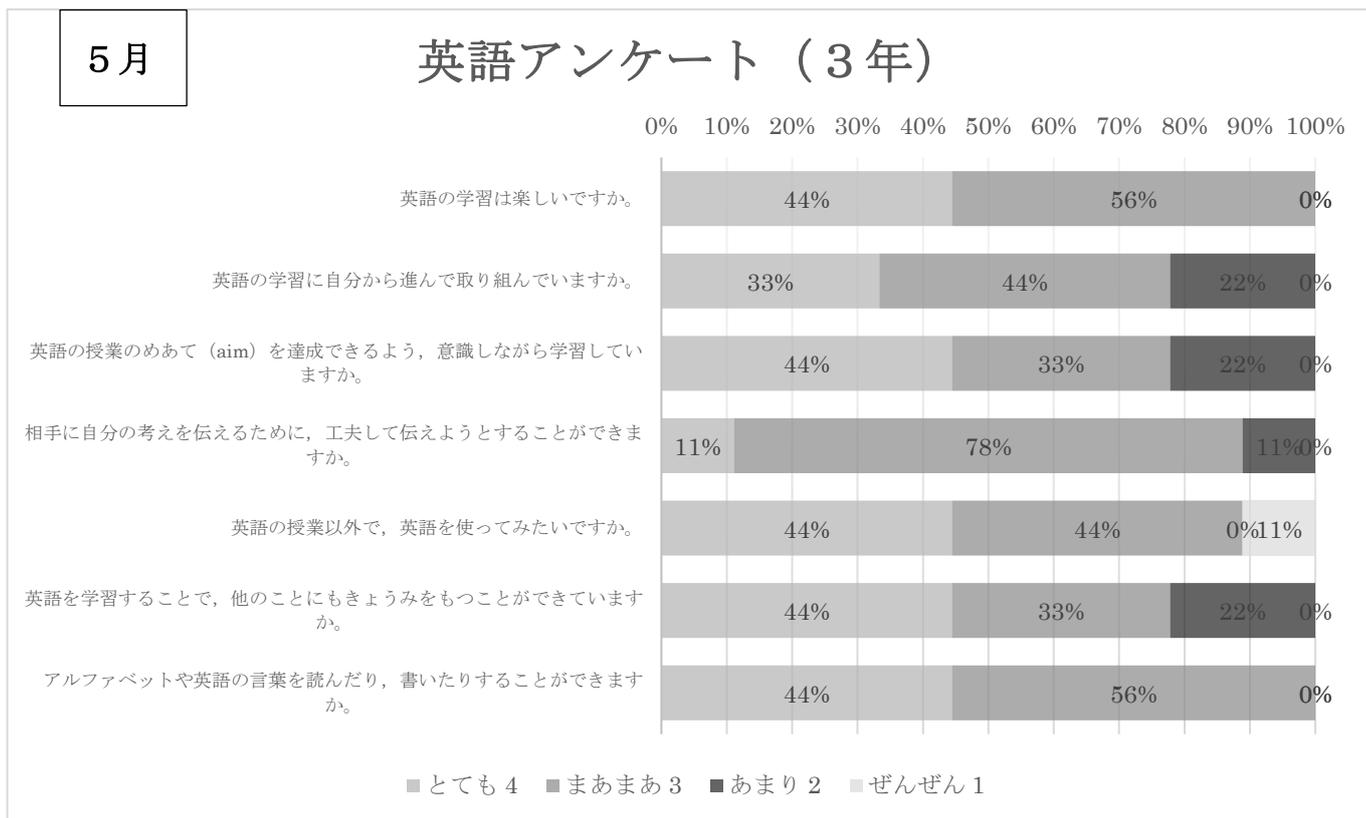
そこで本単元では、What ○○ do you like?というオープンクエスチョンを使うことで、さらに友達とコミュニケーションを図ることのできる活動である。様々な相手や場面において、英語でのコミュニケーションの経験を積み、これまで以上に「やり取り」の楽しさが味わえるようにしたい。

## (2) 児童観（男子6名 女子4名 計10名）

5月に行った英語アンケートでは、「英語の学習は楽しいですか。」に対して、100%の児童が肯定的な回答をしている。おおむね英語の学習を楽しんで取り組んでいる様子が見られる。さらに、「相手に自分の考えを伝えるために、工夫して伝えようとする事ができますか」に対してほとんどの児童が肯定的に捉えている。しかし、他の項目については、否定的回答の割合も高くなり、授業の様子を見ても、英語の授業は楽しいが、自信をもってやり取りするまでには至っていない。

また、2学期からは All English を意識した授業を行っており、児童間でのやり取りが1学期より増えている。

本単元では、ペアで確認したり、一緒に活動したりすることで、自信をもってやり取りが行えるようにしたい。



## (3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「主体的に学びに向かい、思いや考えを伝え合う児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の2つである。

### 仮説

- 1 目的意識や相手意識・必然性を感じる課題設定を考えることで、児童が主体的に学びに向かい、様々な事柄への見方・考え方を広められるようにするだろう。（新本オリジナル）
- 2 児童に到達してほしい姿を示し、課題においてどのような姿を目指すのかを、児童と教師の双方が理解しながら活動することで、「学びに向かう力、人間性等」を高めることができるだろう。

## 1 について

本単元では、「新本ランキングを作ろう！」というゴールを設定することにより、児童が主体的に学び、やり取りをする活動に必然性をもって取り組むことができるのではないかと考える。本単元を通して、学級の友達、先生、全校と好きな〇〇を聞く相手を段階的に広げていくようにする。児童の「知りたい」「聞きたい」という気持ちを引き出せるようにしたい。

本時では、新本小の先生に好きな〇〇を尋ねる活動を設定する。ただ尋ねるだけでは必然性が生まれないので、自分と比べてどうかや同じものを好きな友達がいかなかなどの視点をもってやり取りをすることで、児童が主体的に学びに向かうことができるのではないかと考える。

## 2 について

単元を通して、担任と ALT のコミュニケーションのモデルを示すことにする。また、視覚的にコミュニケーション量が増えていることが分かるように、会話のキャッチボールを行いたい。コミュニケーション量が増えることで、尋ねたことの答えを聞くだけでなく、会話を広げられるようになることで、英語を使ってやり取りをしたという成功体験を実感できるのではないかと考える。また、事後のワークシートに振り返りを記入することで、自分の課題や成長を感じられるようにすることで、単元のゴールに向かって意欲的に取り組めるようにしたい。

## 6 本時案（4/5時）

### (1)本時のねらい

- 好きな〇〇を尋ねて、やり取りを増やすことができる。

### (2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT)	学習評価
1 Greeting	●■英語で挨拶をした後、気分や天気、曜日、日付、時刻などについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。	
2 Warm up chants	●■chants に取り組み、英語を学習する雰囲気作りをすることができるようにする。	
3 Review	●■What 〇〇 do you like?を児童に尋ねることで、本時のめあてにつなげる。	
4 Aim	Aim 先生たちに好きな〇〇を聞こう！	
5 Activity ・前半	●友達同士で好きな〇〇を聞き合い、先生に聞く活動につなげる。 ●What sport do you like? ■I like ~. ●Oh. You like ~. ■Yes, do you like~? ●Yes, I do. I like ~ too. ■It is fun! ●■デモンストレーションをして見せることで、見通しをもって活動ができるようにする。 ■表現に困っている児童には、教師が発音をやって見せることで、自信をもって活動に参加できるようにする。	

<p>・ 中間交流（5分）</p> <p>・ 後半</p>	<p>● しっかり反応をしている児童を称揚することで、意欲を高めることができるようにする。</p> <p>● ■ ペアでもよかったことを伝え合い、全体で共有することで、自信をもって次の活動に移ることができるようにする。</p> <p>● ■ 中間交流を踏まえて変化した姿を称賛する声掛けをすることで意欲的に活動できるようにする。</p> <p>● 早く終わったペアは、他の先生とも交流を行ったり、他の好きな〇〇を尋ねたりして、英語でのコミュニケーションを味わうことができるようにする。</p>	<p>◇好きな〇〇を尋ねたり、答えたりすることができている。</p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>【思・判・表】 <input type="checkbox"/></p> <p>【主】 <input type="checkbox"/></p>
<p>7 Comment time</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生たちの好きなものを知ることができてよかった。</li> <li>・ やり取りを増やすことができた。</li> <li>・ 先生たちの質問に英語で答えることができた。</li> </ul>	
<p>8 Greeting</p>	<p>● 自分のできるようになったことやペアになった人のよかったところなどを称揚することで、本時のめあての達成状況を確認することができるようにする。</p> <p>■ やり取りの中で、よかったことや気になること、今後の英語の学習で気を付けたらよいところなどを伝え、今後の学習に生かすことができるようにする。</p> <p>● 気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</p>	

(3) 板書計画

<b>Goal</b>	新本ランキングをつくろう！
<b>Aim</b>	先生たちに好きな〇〇を聞こう！
<b>★Check</b>	
<b>★Reaction</b>	
<b>★Question</b>	